

国大化学会活動報告

国大化学会副会長 平井太一郎（昭和41年2部応化卒）

国大化学会の活動状況をご報告します。

米屋会長のもと副会長をおおせつかっている応化41年2部の平井太一郎です。

米屋会長の2大方針

第一 国大化学会メンバー間の会員相互の交流とネットワークの構築

第二 大学・学生支援

に基づいて副会長3名および次の七つのグループが活動しています。

企画グループ

会費納入促進グループ

会誌・名簿グループ

総会・懇親会グループ

ホームページグループ

庶務・会計グループ

教育研究支援基金運用グループ

各グループは相互に関係し合い米屋会長の二大方針の推進に当たっています。各グループの活動は会員一人ひとりがいかに相互に交流し協力しあえる会になることをポイントにしています。

主な活動について、現在検討していることをご報告いたします。

〈会員の相互の交流とネットワークの構築〉

会を活性化する原点ととらえ、以下の活動を展開しています。

* 同窓委員の再組織化

これまでの電化会・応化会ではクラス幹事が決められていましたが、卒業して時間も経ちクラス幹事が十分に機能していないクラスもあることから、全クラスの確認を行っています。そしてクラス幹事の名称に代わり同窓委員の名称で再整理をしています。また平成の卒業者はクラス幹事が選任されていないので、研究室の先生方をお願いして教室ごとの同窓委員ができるようお願いしています。

この二つの同窓委員で卒業生全員へのネットワークができるようにしていきたいと思えます。

（“同窓委員”については次ページに記載されています。）

* 名簿の発行

個人情報情報の漏えいについての議論を進めてきましたが、3月までに内容の確認の連絡をして、10月を目標に発送できるようにします。

配布対象者は直近3年間で1年以上の会費をおさめた方と4年生といたしました。

* 会費納入

活動のもととなる会費は集まりが悪いのが現状です。会費は二大方針の一つである学生支援に10%使われています。会費の納入が進めばより多くの支援ができ、より良い学生が育つ一助になります。“あなたの会費が国大化学会と大学・学生を支えてくれます”をスローガンにし、会員一人ひとりに納入をお願いいたします。

* 大学・学生支援

“OBと語る会”は継続していきます。この活動は他の同窓会にも影響を及ぼしています。新たな取り組みとしては、学生の就職活動支援、研究・教育支援基金の増設を検討しています。

今後の国大化学会関連の重要行事を紹介します。

- ・国大化学会総会・懇親会：6月19日（土）崎陽軒本店（横浜駅東口）
- ・第5回ホームカミングデー（HCD）：10月30日（土）横浜国立大学キャンパス
- ・OBと語る会：物質工学科化学系学部・大学院生対象 春秋2回開講

* 第5回ホームカミングデー（HCD）の担当同窓会は工学部同窓会連合です。

実行委員長：渡辺慎介氏〈電気工学41年卒、元知能物理工学科同窓会長、前横浜国立大学理事、現放送大学神奈川学習センター所長〉

私が筆頭副委員長になりました。具体的内容については今後検討していますが、会員のご協力をお願いいたします。横浜国大のHCDは他大学のHCDと異なり大学と同窓会の共同開催です。大学・同窓生・学生・教員が一堂に集います。

皆様のご参加をよろしくお願いいたします。